

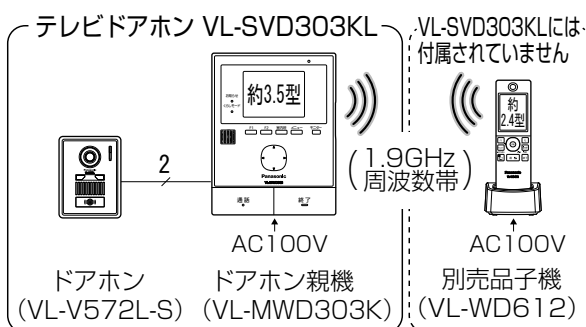
概要

本機はモニター親機（ドアホン親機）とカメラ玄関子機（ドアホン）からなるテレビドアホンです。別売品のワイヤレスモニター子機の採用により、ワイヤレスモニター子機付テレビドアホンとしてもご使用いただけます。

ドアホン親機とカメラ玄関子機間は 2 線式無極性配線ですが、ドアホン親機と子機の間はワイヤレス接続で配線工事が不要です。見通し約 100 m 以内で使用できます。

ドアホン親機は SD カードスロットを搭載しており、ドアホンの呼出しボタンを押すと、SD カード（別売品）に、来訪者を自動で動画録画できます。

センサー付ワイヤレスカメラを接続でき、センサーが反応したときに、ドアホン親機と子機で、ワイヤレスカメラのセンサー通知（呼出音と映像）を受けることができます。ドアホン親機に電気錠を接続するとドアホン親機と子機で、電気錠の施錠 / 解錠ができます。



特長・機能

(1) スタイリッシュなデザインのカメラ玄関子機

金属の質感に近づけた塗装により、エクステリアに調和します。

玄関先を広く確認できる広角レンズ（左右 約 170 度、上下 約 130 度）を採用しました。

ワイド、ズーム、パン・チルト機能により、見たいところをしっかり確認できます。

さらに自然色 LED（照明用ランプ）搭載で、夜でもカラーで来客確認できます。

(2) スリムなデザインのモニター親機

奥行約 23.5 mm の薄型設計により、インテリアに調和します。

(3) SD カード（別売品）で来訪者を自動「動画」録画

ドアホンの呼出ボタンを押すと来訪者の映像を SD カードに自動で

動画録画（1 件あたり約 30 秒、最大 3,000 件）できます。設定により録音も可能です。

(4) 約 2.4 型 ワイヤレスモニター子機（別売品）

2 階、ベランダや庭などに持ち運びができ、家じゅうどこでもモニター画面を見ながら、来訪者との通話が可能です。

電話 / ファクス（※）に子機として登録すると、電話の子機として使用できます。

(5) 2 種類のワイヤレスカメラ（別売品）の接続が可能

ワイヤレスカメラで、駐車場や勝手口などの気になる場所を見守ります。

VL-WD812K と VL-WD712X/K（VL-WD712X は電源直結式、VL-WD712K は電源コード式）を合計 4 台まで接続できます。

ドアホン親機と無線で簡単に接続でき配線が不要です。

ワイヤレスカメラのセンサーが人などを検知すると連続静止画をドアホン親機に送信し、ドアホン親機と子機で、センサー通知（呼出音と映像）を受けることができます。

カメラ映像はドアホン親機の SD カードに約 30 秒の連続静止画で、ドアホン映像と合わせて最大 3,000 件まで録画可能です。

VL-WD812K は宅内のドアホン親機と双方向の通話ができ、映像とともに音声も録音できます。

VL-WD712X/K は宅内のドアホン親機からカメラへの呼びかけができ、コンパクト設計で家の外観を損ねないデザインです。

（※）特長・機能に記載されている対応機種は本書（P.6）をご確認ください。

概要／特長・機能

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

(6) 2種類の電気錠の接続が可能 (1 系統)

本機には JEM-A 対応または A 接点出力対応の電気錠を接続可能で、ドアホン親機や子機から、電気錠の操作・確認ができます。

JEM-A 対応の電気錠を接続の場合、施錠／解錠／状態確認が可能です。

A 接点出力対応の電気錠を接続の場合、自動ドア（オートドア）または入退室管理システムの電気錠の解錠操作ができます（接続は 1 台のみ）。

(7) 窓^(※)／ドア^(※)の開放をドアホンにお知らせ

窓／ドアが開きセンサーが反応するとドアホン親機と子機に知らせ、ドアホン親機や子機で、窓／ドアの開閉状態を確認できます。

窓／ドアセンサーは合計で 20 台接続できます。

(8) ワイヤレスアダプター機能付の電話／ファクス^(※)の接続

対応の電話／ファクスを接続すると音声での来客対応が可能です。

ドアホン親機とワイヤレスで接続でき、配線が不要です。

別売のワイヤレスモニター子機を電話として使うこともできます。

電話／ファクスの接続は 1 台のみです。

(9) 中継アンテナ^(※)の接続で、電波の届く範囲を拡大

子機、ワイヤレスカメラ、窓／ドアセンサーがドアホン親機から離れていたり障害物などで電波が届きにくいときに、中継アンテナを設置すると、電波状態を改善することがあります。中継アンテナはドアホン親機に 2 台まで登録することができます。2 台の中継アンテナを連結接続して、ドアホン親機の電波をより遠くまで飛ばすこともできます。

(10) 住宅用火災警報器（移報接点付き）^(※)の接続

ドアホン親機に住宅用火災警報器を接続すると、火災発生等で警報器が反応した場合、警報器と連動してドアホン親機や子機からも通知音と画面表示（赤点灯）でお知らせします。

単独型住宅用火災警報器（移報接点付き）は、並列接続で 15 台まで使用できます。

また単独型に替えて、連動型住宅用火災警報器も接続できます。その場合、移報接点アダプタ^(※)を 1 台介して連動型火災警報器を最大 14 台まで接続可能です。

(11) 住宅機器コントローラー^(※)のモニターで来客対応

プライベート・ビエラ（住宅機器コントローラー）をドアホン親機に子機として登録することで、住宅機器コントローラーのモニターで来客対応ができます。

ドアホン親機とワイヤレスで接続でき、配線が不要です。

ドアホン親機にワイヤレスカメラが接続されている場合、ワイヤレスカメラの画像も確認できます。

(※) 特長・機能に記載されている対応機種は本書 (P.6) をご確認ください。

概要／特長・機能			
セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

(12) その他の特長

- くらしの場面（在宅／夜間／外出）にあわせて、便利に使える「くらしモード」機能付きです。
- （例：「夜間モード」時はドアホン呼出音は鳴らず、映像のみ）。
- ドアホン親機と子機間、子機間で呼出および通話ができます（室内通話機能）。
- ドアホン親機と子機間でドアホン通話の転送ができます。
- 光るチャイム、メロディサインなどと連携ができます。
- A 接点のセンサー等を接続できます。
- B 接点の火災警報器を接続できます。

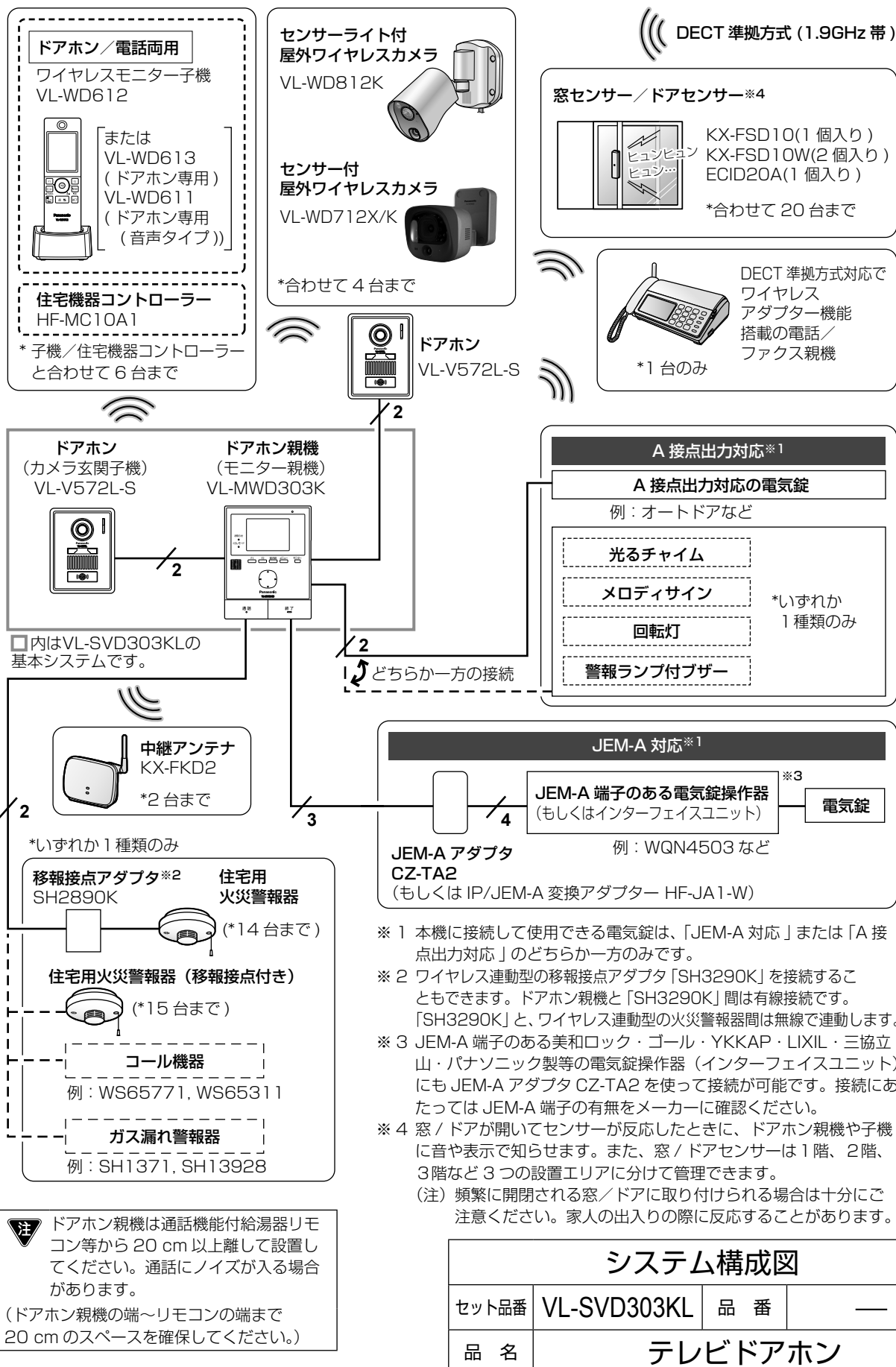
(13) ドアホン親機その他の機能

ドアホン モニター機能	モニターボタンを押すと、ドアホン周辺の様子を映像と音で約 3 分間確認できます。
ただいまコール機能	ドアホンの呼出ボタンを押した状態で、約 3 秒後に室内呼びかけができます。
呼出音の変更	ドアホンやカメラ（オプション）からの着信時の呼出音を変更できます。
呼出音量調節	ドアホン、室内呼び出し、カメラ、コール機器、窓／ドアセンサー（接続機器はいずれもオプション）からの呼出音量を、それぞれ別に設定できます。
受話音量調節	通話中またはモニター中の室内側（ドアホン親機側）の受話音量を変更できます。
送話音量調節	通話中またはモニター中に、ドアホン／カメラ側に聞こえる音声の音量を変更できます。
明るさ調節	モニター画面の明るさを調節できます。
ドアホンの照明 等の入切り	ドアホンの照明や、ドアホン親機、子機の逆光補正の ON/OFF ができます。
鳴り分け機能	親機や子機ごとに、着信するドアホン、カメラ（オプション）を指定できます（親機で設定）。

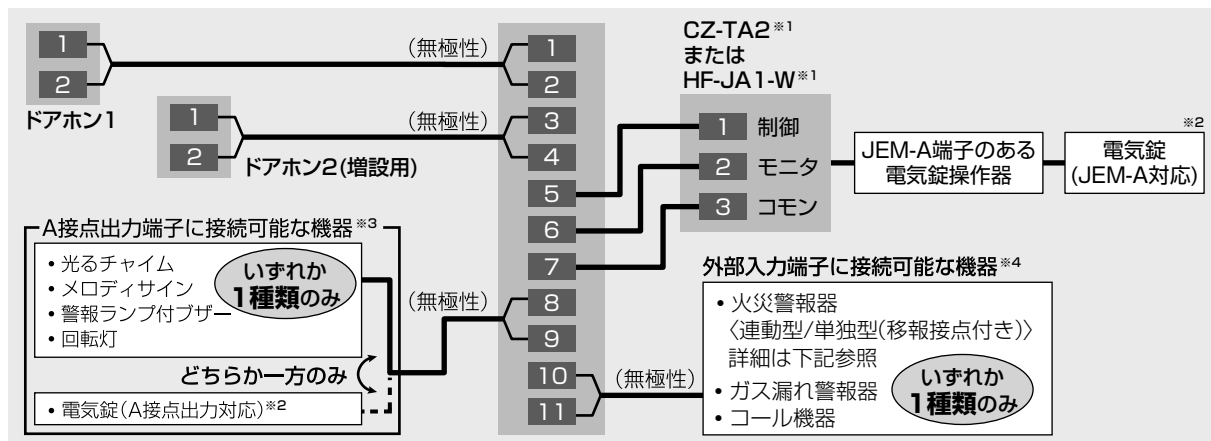
概要／特長・機能

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

システム構成図



配線系統図



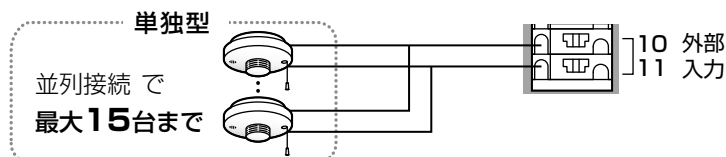
火災警報器を接続するとき (火災警報器のタイプによって接続方法が異なります)

■ 連動型の場合：移報接点アダプタが必要です



- ドアホン親機に直接、連動型の火災警報器を接続しないでください。(故障の原因)
- 移報接点アダプタとの配線時は、線の色を間違えないでください。(故障の原因)

■ 単独型 (移報接点付き) の場合



- 単独型を複数台接続する場合も、外部入力端子への入線は、1端子あたり1本にしてください。

- ※ 1 「JEM-A 対応」の電気錠を接続するためのアダプターです。「JEM-A 対応」とは、一般社団法人日本電機工業会 (JEMA) の標準 HA 端子をもつ端末機器を指します。
- ※ 2 本機に接続して使用できる電気錠は、「JEM-A 対応」または「A 接点出力対応」のどちらか一方のみです。接続する電気錠の種別によって接続する端子が異なりますので、上記の配線系統図をよくお読みの方、間違えないように接続してください。また、本機から電気錠を操作するには、接続した電気錠の種別 (JEM-A 対応 / A 接点出力対応) に合わせて「電気錠接続」の設定が必要です。
- ※ 3 ● 下記の定格に適合した機器を接続してください。並列接続はできません。(故障の原因になります)
 定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA
 ● 接続した機器の動作については、本機の取扱説明書および接続機器の説明書をお読みください。
- ※ 4 ● 下記の定格に適合した機器を接続してください。
- 入力方式：無電圧メーク接点
 - 検出確定時間：0.1 秒以上
 - 端子間短絡電流：5 mA 以下
 - 端子間開放電圧：DC 7 V 以下
 - 接点抵抗値
 - メーク時：500 Ω 以下
 - ブレイク時：15 k Ω 以上
- 接続した機器をご使用になるには、接続機器の種別に合わせて「外部入力」の設定が必要です。
- 火災警報器などの警報器は、A 接点 / B 接点のどちらの接点種別でも接続いただけますが、上記の「外部入力」設定で接点種別の設定も必要です。
- ※ 5 ワイヤレス連動型の移報接点アダプタ「SH3290K」を接続することもできます。
- ドアホン親機と「SH3290K」間是有線接続です。
 - 「SH3290K」と、ワイヤレス連動型の火災警報器間は無線で連動します。
 - 設置の際は、ドアホン親機を移報接点アダプタと火災警報器から、それぞれ 1 m 以上離してください。(近接すると、移報接点アダプタと火災警報器間の電波到達距離が短くなる場合があります) 詳細は、「SH3290K」の説明書をお読みください。

配線系統図

セット品番	VL-SVD303KL	品番	—
品名	テレビドアホン		

構成品

- VL-SVD303KL の構成品です。

品名	品番	台数
ドアホン親機（モニター親機）	VL-MWD303K	1
ドアホン（カメラ玄関子機） 露出型	VL-V572L-S	1

別売品・連携できる機器一覧

- 記載した情報は 2015 年 9 月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

品名	品番	システム追加台数
ドアホン(カメラ玄関子機)	露出型	VL-V522L-WS, VL-V572L-S, VL-V521L-S, VL-V522L-S, VL-V570L-S, VL-V566-S
ドアホン(音声玄関子機)	露出型	VL-V500-K
子機(ワイヤレスモニター子機)	ドアホン / 電話両用	VL-WD612
子機(ワイヤレスモニター子機)	ドアホン専用	VL-WD613
子機(ワイヤレス子機)	ドアホン専用(音声タイプ)	VL-WD611
住宅機器コントローラー	HF-MC10A1	
中継アンテナ	KX-FKD2	2 台まで
ワイヤレスアダプター機能 対応機種	電話 FAX	VE-GDF61/GDW03/GDW54/GDS01/ GD24/GD32/GD53/GD72 シリーズ KX-PD101/PD304/PD503/PD552/ PD604/PD703 シリーズ
窓センサー	KX-FSD10, KX-FSD10W(2 個入り)	
ドアセンサー	ECID20A	20 台まで
センサーライト付屋外ワイヤレスカメラ	VL-WD812K	
センサー付屋外ワイヤレスカメラ	VL-WD712X(電源直結式) VL-WD712K(電源コード式)	4 台まで
電気錠	JEM-A アダプタ※1 IP/JEM-A 変換アダプタ A 接点出力対応の 電気錠※2	CZ-TA2 HF-JA1-W 本書 (P.23) 「A 接点出力端子」の 定格に適用する機器
A 接点出力対応の 接続機器※2	光るチャイム※3 メロディサイン※3 警報ランプ付ブザー 回転灯※4	EC170(P) 乾電池式 EC5227W(P), EC5117WKP, EC5347 AC100V 式 EC710K, EC730W EA5501 KJS-110, KJSB-110, KES-110
火災警報器	住宅用火災警報器 (単独型、移報接点付き) 移報接点アダプタ※6	けむり当番 SHK28413, SHK38453 ねつ当番 SHK28113, SHK38153 煙検知式 FSKJ222-S※5 熱検知式 FSLJ012-S※5 SH2890K(連動型用) SH3290K(ワイヤレス連動型用)
ガス漏れ警報器	SH1371, SH13928	
コール機器(コール用押釦)	WS65771, WS65311	

- ※ 1 電気錠の接続に必要なアダプタです。

このアダプタを経由して JEM-A 端子のある美和ロック・ゴール・YKKAP・LIXIL・三協立山・パナソニック製の電気錠操作器(インターフェイスユニット)にも、接続が可能です。接続に当たっては JEM-A 端子の有無をメーカーにご確認ください。

- ※ 2 「A 接点出力対応の電気錠」と「A 接点出力対応の接続機器」は併用できません。

- ※ 3 火災警報器および玄関子機に連動して鳴動します。

- ※ 4 (株)パトライト製

- ※ 5 能美防災(株)製

- ※ 6 連動型の火災警報器を接続するためのアダプタで、14 台まで火災警報器を接続できます。
(接続できる火災警報器は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください)

構成品 / 別売品・連携できる機器一覧

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

ドアホン親機の機能設定（設定方法と設定一覧）

1 【メニュー】を押す

2 「設定を変更」を選び、 【メニュー】（決定）を押す

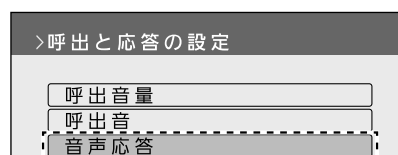


3 設定したい項目を選び、 【メニュー】（決定）を押す



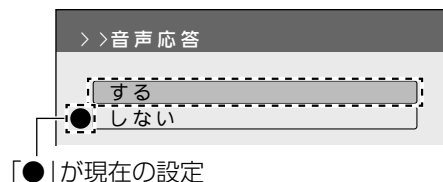
4 設定したい機能名を選び、 【メニュー】（決定）を押す

- 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。



5 設定内容を選び、 【メニュー】（決定）を押す

- 設定完了後、【終了】を押してください。
- 設定内容の選択時に確認メッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。



ドアホン親機の機能設定（設定方法と設定一覧）

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

「 最初の設定 」の機能一覧		
機能名など		設定内容など
日時設定		初期値
		● 日時の設定画面が出たら、現在の日付・時刻に設定します。
ワイド / ズーム設定	ドアホン 1 ～ 2	(設定場面)：来客時、モニター時 (設定内容)：ズーム、ワイド ● ドアホンの来客時やモニター時の映像表示の設定をします。
	ズーム位置設定	● ズーム画面のとき、最初に表示する位置を設定します。
		ワイド画面 の中央

「 呼出と応答の設定 」の機能一覧		
機能名など		設定内容など
呼出音量		初期値
呼出音量	ドアホン カメラ	大、中、小、切
	室内呼	大、中、小
	外部入力(コール機器)	大、小、切
	センサー (報知レベル：低い)	小、切
呼出音	ドアホン 1 ～ 2	(音の種類)：音 1、音 2、音 3 (鳴りかた)：押すたび (押すたびに鳴る)、繰り返し (5 秒ご とに鳴る)、連打防止 (いたずら防止)
	カメラ 1 ～ 4	音 A、音 B、音 C、音 D
音声応答		する、しない ● ドアホンからの呼び出しに音声応答できるようにするには「する」を 選びます。(「する」に設定しても通話ボタンでの応答はできます)
鳴り分け		
親機	ドアホン 1 ～ 2	鳴る、鳴らない ● 着信を受けたくない機器は「鳴らない」を選びます。
子機 (1 ～ 6)	カメラ 1 ～ 4	
ワイヤレス アダプター	ドアホン 1 ～ 2	
		鳴る

「 録画再生の設定 」の機能一覧		
機能名など		設定内容など
ドアホン録画開始時間		初期値
		標準、遅い ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間などの映像が映りにく いときは「遅い」を選びます。 「標準」：呼び出しの約 2 秒後に録画を開始 「遅い」：呼び出しの約 3 秒後に録画を開始
ドアホン着信 自動録画	ドアホン 1 ～ 2	する、しない
ドアホン通話 全記録	ドアホン 1 ～ 2	する、しない
カメラ検知 自動録画	カメラ 1 ～ 4	する、しない
カメラ通話 全記録	カメラ 1 ～ 4	する、しない
画像全消去	本体メモリー SD カード	すべての画像を消去、保護画像を残して消去
SD カードのフォーマット		他の機器で使用していた SD カードを本機で使える状態にします。
本体から SD カードへのコピー		本体メモリーに記録した録画データを SD カードにコピーします。

ドアホン親機の機能設定(設定方法と設定一覧)

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

「接続機器の設定」の機能一覧			
機能名など		設定内容など	初期値
カメラ	カメラ 1～4	●カメラに関する機能設定をします。	—
ドアホン 接続	ドアホン 1～2	あり、自動判定、なし ●使わなくなったドアホンがあれば、「なし」を選びます。	(ドアホン 1) あり (ドアホン 2) 自動判定
子機の名前	子機 1～6	子機 (1～6)、リビング、キッチン、子供部屋、寝室、洋室、和室、書斎 ●設定した名前は、室内通話で子機を呼び出すときなどに表示されます。	子機 (1～6)
外部入力		(接続する機器) : 警報器、コール機器 (警報器の接点種別) : A接点(メーク)、B接点(ブレーク) ●外部入力端子の接続機器を選びます。接続機器が警報器の場合は、警報器の仕様に合わせて接点種別も設定します。	警報器、 A接点 (メーク)
中継アンテナの中継対象		(設定する中継アンテナ) 〈単独利用時〉 : 中継アンテナ 1、中継アンテナ 2 〈連結利用時〉 : 中継アンテナ 1、2 (連結) (中継する機器) 子機・窓 / ドアセンサー、カメラ・窓 / ドアセンサー ●中継アンテナでどの機器を中継するかを選びます。	子機・窓 / ドアセンサー
窓 / ドアセンサー			
センサー の名前	センサー 1～20	窓 1 または ドア 1、居間、洋室 1…など (全 26 種類)	—
エリアの 変更	(現在の設定 を一覧表示)	エリア 1、エリア 2、エリア 3	—
ドア報知遅延時間 (外出時)		1 分、3 分、5 分	3 分
ドア予備報知時間 (帰宅時)		1 分、3 分、5 分	3 分
電気錠接続		(接続する機器) : JEM-A (ジェマ)、A 接点出力、接続なし (A 接点出力の時間) : 1 秒、2 秒、3 秒、… 7 秒 ●接続する電気錠の種別を選びます。A 接点出力対応の場合は、出力時間 (解錠時間) も設定します。	接続なし、 1 秒
A 接点出力 との連動※	ドアホン 1～2 カメラ 1～4	ON、OFF ●A 接点出力の接続機器 (光るチャイムなど) は、お買い上げ時の設定ですべてのドアホン / カメラの着信に連動します。連動させたくないドアホン / カメラは「OFF」に設定してください。	ON
ドアホン照明 自動点灯	ドアホン 1～2	(設定場面) : 来客時、モニター時 (設定内容) : する、しない ●ドアホンの映像表示の際 (来客時やモニター時)、外が暗いときに自動でドアホンの照明 (LED ライト) を点灯させるかどうかを選びます。	する

※ 「電気錠接続」設定を「A 接点出力」にしたときは、この設定はできません。

ドアホン親機の機能設定(設定方法と設定一覧)			
セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

「登録 / 減設」の機能一覧			
機能名など		設定内容など	初期値
登録	子機	● 子機を登録する	—
	カメラ	● カメラを登録する	
	ワイヤレスアダプター機能	● 電話 / ファクス親機を登録する	
	中継アンテナ	● 中継アンテナを登録する	
	窓 / ドアセンサー	● 窓 / ドアセンサーを登録する	
減設	子機	● 各機器を減設する	
	カメラ		
	ワイヤレスアダプター機能		
	中継アンテナ		
	窓 / ドアセンサー		

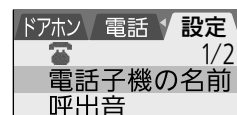
「その他の設定」の機能一覧		
機能名など	設定内容など	初期値
お知らせランプ点滅	する、しない ● 新しいお知らせや新しく録画した未確認画像があっても、お知らせランプが点滅しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
親機の初期化	親機の設定を元に戻す、本体メモリー画像全消去、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—
展示モード（販売店専用）	ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、商品説明（専用 SD カード必要）、しない 通常は使わないでください。（店頭販売時の展示用）	しない

ドアホン親機の機能設定(設定方法と設定一覧)

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

別売品子機の機能設定（設定方法と設定一覧）

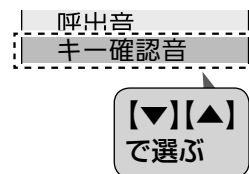
- 1 トップ画面で【決定】（メニュー）を押し、
【◀】【▶】で「設定」メニューを開く



（電話子機でもあるとき）

- 2 設定したい機能名を選び、【決定】を押す

- 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合もあります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。



- 3 設定内容を選び、【決定】を押す

- 設定完了後、【終了】を押してください。
- 設定内容の選択時に確認メッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。

「●」が現在の設定



（★）のついた機能は、子機を電話 / ファクスに登録してご使用のときに表示されます。

機能一覧		
機能名など	設定内容など	初期値
電話子機の名前（★）	● 電話の子機としての名前をつけます。トップ画面のほか、内線呼び出しで相手の画面にも表示されます。 <名前の入力画面が出たら> 名前を入力（全角 6 / 半角 12 文字まで）→ 【決定】 → フリガナを確認・修正（半角 8 文字まで）→ 【決定】	—
呼出音	ドアホン 1～2 (音の種類)：音 1、音 2、音 3、音 4 (鳴りかた)：押すたび、繰り返し、連打防止	(ドアホン 1) 音 1、押すたび (ドアホン 2) 音 2、押すたび
	カメラ 1～4 音 A、音 B、音 C、音 D	音 A
	外線（★） ベル 1～ベル 8（8 種類）、JUPITER、 ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形	ベル 1
キー確認音	ON、OFF ● ボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を出さないようにするには、「OFF」を選びます。	ON
コントラスト	● 映像（背景と被写体）の明暗差が大きいときなど、必要に応じて 5 段階で調整できます。	レベル 3 (標準)

別売品子機の機能設定（設定方法と設定一覧）

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

機能一覧 (つづき)		
機能名など	設定内容など	初期値
横画面表示	する、しない ● 子機を左右に 90 度回転したとき、映像を横画面表示にしないときは「しない」を選びます。	する
オフフック応答 (★)	する、しない ● 電話 (外線・内線) の応答方法を設定します。「する」を選ぶと、充電台から子機を取るだけで電話を受けられます。	しない
外線鳴り分け (★)	グループ 1 ～ 9	登録しない
	非通知	
	公衆電話	
	表示圏外	
電話帳転送 (★)	親機	個別、一斉
	子機※ 1	
電話帳全消去 (★)	● 子機の電話帳の内容をすべて消去します。	—
動作モード	ドアホン / 電話、ドアホン、電話 ● 電話とドアホンの両方の機能を使う場合は「ドアホン / 電話」、ドアホン専用子機として使う場合は「ドアホン」、電話専用子機として使う場合は「電話」を選びます。 ● 電話 / ファクス親機に増設していないときは、「ドアホン」以外選べません。(表示されません)	※ 2
子機増設	● 親機への登録が必要なときに操作します。 ● 電話 / ファクス親機に登録するとき ● ドアホン親機に登録するとき	—
設定の初期化	● 子機の設定のみをお買い上げ時の状態に戻します。(ご使用のドアホン親機や電話 / ファクス親機には登録されたままです)	—

※ 1 操作している子機以外の子機番号が表示されます。

※ 2 電話 / ファクスに未登録のときは「ドアホン」になります。(「ドアホン」以外の選択肢は表示されません)
 電話 / ファクスに登録すると自動的に「ドアホン / 電話」になります。

線種と配線距離

(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線 種	配線距離
ドアホン親機～ドアホン	インターホン用平行 2 線式ケーブル 単芯線 (mm) : ϕ 0.65 ～ ϕ 0.9	100 m 以内
ドアホン親機～JEM-A アダプタ	単芯線 (mm) : ϕ 0.65 ～ ϕ 0.9	30 m 以内
ドアホン親機～A 接点出力端子に 接続可能な機器	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線 (mm) : ϕ 0.65 ～ ϕ 0.9	接続する機器の仕様に従う
ドアホン親機～外部入力端子に 接続可能な機器		50 m 以内

別売品子機の機能設定(設定方法と設定一覧)/ 線種と配線距離

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

録画・録音機能について

録画の仕様

記録できる内容や件数などは、記録先（SD カード / ドアホン親機の本体メモリー）によって異なります。

- 記録先は、SD カードを入れると SD カード、SD カードがないとドアホン親機の本体メモリーになります。（記録先は選べません）
- カメラの録画・録音には SD カードが必要です。

記録先と録画対象	SD カード (2GB ~ 64GB)	ドアホン親機の本体メモリー
	ドアホン・カメラ	ドアホンのみ
録画内容	映像と音声	映像のみ
最大録画件数	ドアホン・カメラ合わせて 3000 件※ ¹	50 件
最大保護件数	ドアホン・カメラ合わせて 20 件	20 件
1 件あたりの録画内容		
着信時	ドアホン：動画（最大約 30 秒）	約 1 秒おきの連続画像（最大 8 枚）
モニター時	カメラ：約 1 秒おきの連続画像とカメラ側の音声※ ² （最大約 30 秒）	
通話時	ドアホン：動画と音声（最大約 120 秒） カメラ：約 1 秒おきの連続画像と通話の音声※ ³ （最大約 60 秒）	録画不可

※¹ 録画件数は、SD カードの容量によって異なります。（件数の目安は下記）

※² 音声録音はカメラが WD812K の場合のみ。

※³ カメラが WD712X/K の場合、室内からカメラ側に呼びかけた音声のみが録音されます。（カメラ側の音声は録音されません）

■ 録画がいっぱいになったとき（録画の自動更新）

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。

（手動で画像を消去しなくても、録画できます）

ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。

SD カードの容量と録画件数の目安

未使用の SD カードに録画をしたときの目安です。

容量	録画件数	
	ドアホン映像のみ	カメラ映像のみ
2 GB	250 件	2300 件
4 GB	500 件	3000 件 (最大件数)
8 GB	1000 件	
16 GB	2000 件	
32 GB	3000 件 (最大件数)	
48 GB		
64 GB		

- カメラをご使用の場合は、4 GB 以上の SD カードをお使いいただくことをお勧めします。

録画・録音機能について

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

使用上のお願い

■ 子機をこんなところに設置しない

- 火気・熱器具の近く（変形や故障の原因）
- 直射日光の当たるところ・冷暖房機の近く（誤動作・変形・故障の原因）
- 温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの OA 機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- CS デジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く（CS デジタル放送の画像が乱れる原因）
 - 受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合は取扱説明書を参照ください。

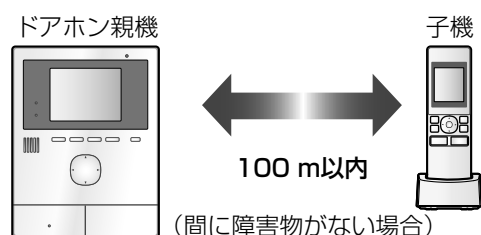
■ 電源プラグを差し込む位置は…

電源プラグは、各機器の設置場所の近くで抜きやすい場所にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

■ 充電台は…

- AM ラジオの近くに置かないでください。（AM ラジオで雑音が聞こえる原因）
- テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かないでください。（充電できないことがあります）

■ 子機の使用可能距離は…

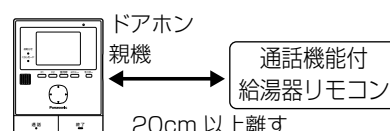


- 子機での通話について
 - デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
 - 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

■ ドアホン親機・子機間の通信について

- 距離が離れていたり、100 m 以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。（子機では、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が圏外となつて使えないことがあります）
 - 金属製のドアや雨戸
 - アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - コンクリートやトタン製の壁
 - 複層ガラスの窓
 - 壁を何枚もへだてたところ
 - 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき
- 上記のような場合は、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。

注 ドアホン親機は通話機能付給湯器リモコン等から 20 cm 以上離して設置してください。通話にノイズが入る場合があります。（ドアホン親機の端～リモコンの端まで 20 cm のスペースを確保してください。）



使用上のお願い

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

■ 電波について

- 本機は、1,895.616 ～ 1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です。

本機には、1.9 GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

1.9-D

- J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。

J-DECT のロゴは ARIB STD-T101 に準拠した 1.9 GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。

J-DECT

同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（取扱説明書（裏表紙））にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（取扱説明書（裏表紙））へお問い合わせください。

■ 個人情報について

本機をご使用になると、次のような個人情報が記録されます。

- ドアホン親機の本体メモリーや SD カードには
 - ・ 来客映像などの録画・録音データ
- 別売の子機 WD612 の本体メモリーには
 - ・ お客様自身で登録した電話番号や氏名などの電話帳データ
 - ・ 電話によって記録された発信履歴などのデータ

これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の録画データは、修理依頼の前に必要に応じて SD カードにコピーし、ドアホン親機から必ず取り出して保管ください。また、子機の電話帳データはメモを取るなどして保管ください。
- データの保管後、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「初期化」をしてください。＊
 - ・ 初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます。
 - ・ 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

- ご使用の SD カードはドアホン親機から取り出し、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「初期化」をしてください。＊（初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます）
 - ・ SD カードも廃棄・譲渡するときは、SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。本機やパソコンによる「フォーマット」や「消去・削除」では、SD カード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、パソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- また廃棄の際は、SD カードを物理的に破壊するか、SD カード内のデータを完全に消去して、地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

※「初期化」について

- ドアホン親機の場合
「親機の初期化」の「出荷時に戻す」を行う
- 子機の場合
「設定の初期化」を行う

使用上のお願い

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

設置上のお願い

設置場所について

■ こんなところには設置しない（故障や動作障害などの原因になります）

〈ドアホン・ドアホン親機共通〉

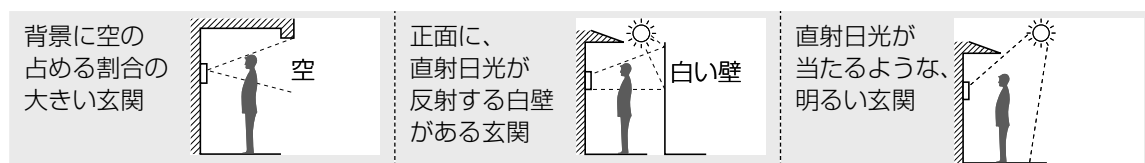
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

〈ドアホン親機〉

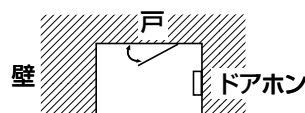
- 火気・熱器具・冷暖房機の近くや直射日光の当たるところ（誤動作・変形・故障の原因）
- 温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの OA 機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く。（故障や動作障害などの原因）
- CS デジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く。（CS デジタル放送の画像が乱れる原因）
 - 受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合は取扱説明書を参照ください。

■ ドアホンの設置について

- 底面の水抜き穴をふさいだり、北向きに設置すると結露しやすくなります。
 - ドアホン周囲の温度差によって、ドアホンのレンズカバーが結露し、映像が見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
 - 断熱材（発泡スチロールなど）を用いて、壁の穴を埋めるか、壁と玄関子機の間に挟むと結露しにくくなります。
- 逆光になる場所への設置は避けてください。（来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります）



- 右図のように反響の多い場所では、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。



- ドアホンの防水性は IPX3* です。
 - ※ 鉛直から両側に 60 度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。

■ ドアホン親機の設置について

- 本体の上下左右に 20 cm 以上の空間をとってください。（他の機器への電波干渉防止）
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。（誤動作や通話の途切れ防止）
- 本体を埋め込まないでください。
- ドアホンから 5 m 以上離してください。（ハウリングなどの通話障害や通話の途切れ防止）
- その他
 - 本機は、1.9 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。電波についてのご注意など、本書（P.15）もよくお読みください。
 - 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。

設置上のお願い

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

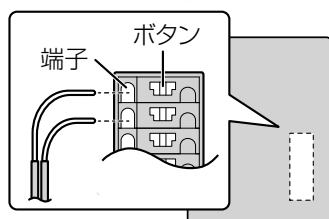
工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
 (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
 (2) 3 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
 ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線 2 線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値（直流ループ抵抗）を測定のうえ、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 M Ω 以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω 以内 (配線距離 100m 以内で)

- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
 - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁（電源線とその他の信号配線材の間）を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
 - ・配線材は AC600V 以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。（金属管は必ず大地アースをすること）
- AC100V 以上の電力線（電灯線）とは 1m 以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。
- ドアホン親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
 (接続できる線種などについては本書 (P.12) 「線種と配線距離」)

<ドアホン親機背面>



配線材を挿入する場合

- ・配線材の被ふくを 9 mm むく。
- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

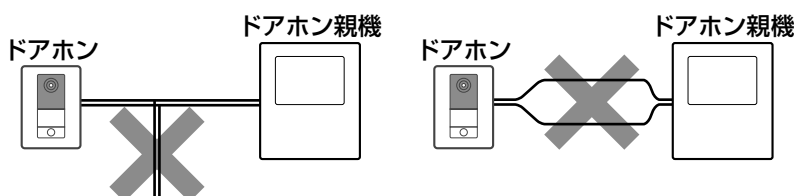
配線材を抜く場合

- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

- 誤配線、ショートなどが無いことを確認後、ドアホン親機の電源を入れる。

■ 既設（チャイム / ベル / ブザー / テレビドアホン / 音声ドアホン）の配線を使用して本機を取り付けるとき

- 既設の配線に電源（AC100 V、24 V など）が接続されている可能性があるため、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。（誤って接続すると故障の原因になります）
- 工事の際は、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種と配線距離を確認してから配線してください。
 - ・本書の「線種と配線距離について」の内容に合わない場合、正常に動作しないことがあります。
 - ・線種が $\phi 1.6$ mm のときは、配線材を取り替える
 - ・線種が「より線」のときは、指定の方法で接続する
 - ・ドアホン親機とドアホン間に不要な配線材があるときは、取り除くか新たに配線してください。また、下記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。正常に動作しないことがあります。



設置上のお願い

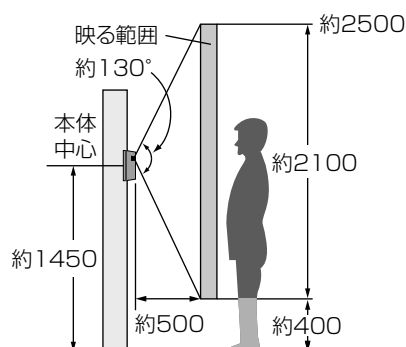
セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

ドアホンの取り付け位置を決める

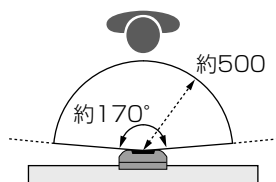
ドアホンの取り付け位置（高さ）と撮影範囲

来客から呼び出されたとき（着信時）の撮影範囲は、ドアホン親機の「ワイド/ズーム設定」でワイドまたはズームのどちらかに設定できます。

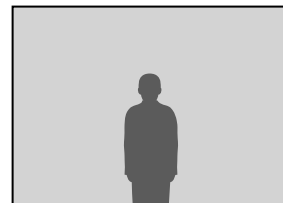
■ ワイドのとき <お買い上げ時> （単位：mm）



【上から見た場合】



【ドアホン親機の表示イメージ】

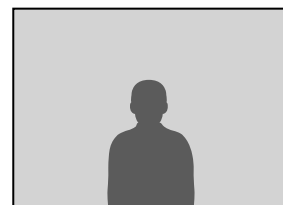


■ ズームのとき

ワイド時の撮影範囲の一部を縦横約2倍に拡大表示します。

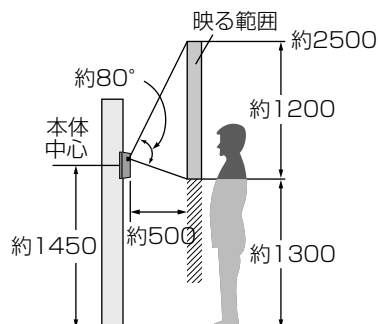
- デジタルズームのため、ワイドや全体表示に比べて画質が粗くなります。
 - ズーム時の撮影範囲は、ドアホン親機の「ズーム位置設定」で任意の位置から選べます。
- 下記を参考にドアホン親機で設定してください。

【ドアホン親機の表示イメージ】

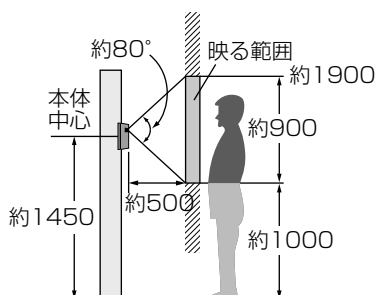


上下方向

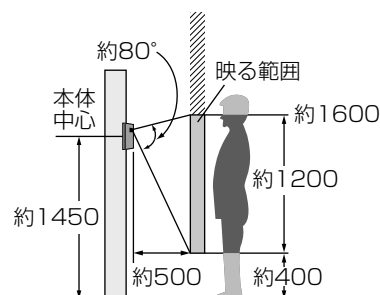
【上】



【中央】お買い上げ時

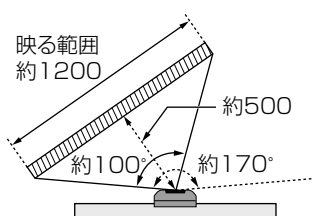


【下】

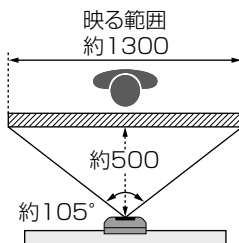


左右方向（上から見た図）

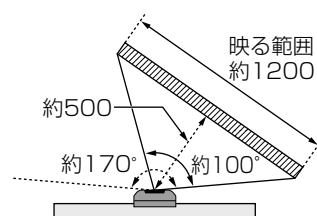
【左】



【中央】お買い上げ時



【右】



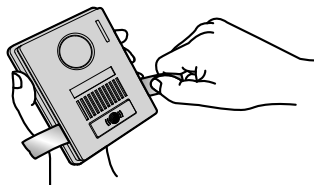
ドアホンの取り付け位置を決める

セット品番	VL-SVD303KL	品番	—
品名	テレビドアホン		

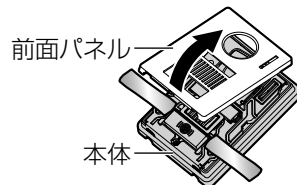
ドアホンを取り付ける

1 前面パネルと露出ケースを外す

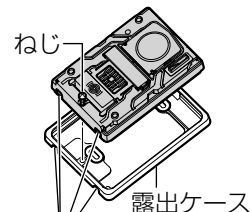
- ① 両端に出ている青色テープを片方ずつ手前に強く引っ張り、前面パネルの下側を本体から外す(ロックが外れる)



- ② 前面パネルの下側(本体から外れた部分)を持って強く引っ張り、本体から完全に取り外す

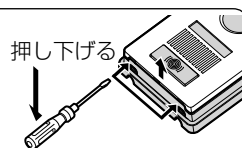


- ③ 青色テープを外して下図のねじをゆるめ、露出ケースを外す



— ロックが外れなかったとき —

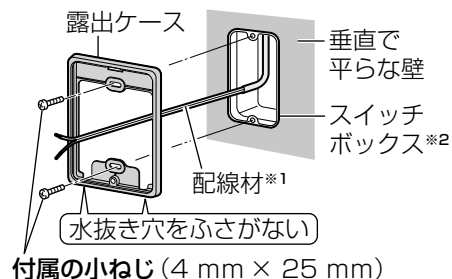
底面の穴に⊖ドライバーを差し込んで押し下げ、前面パネルを持ち上げてください。(パネルを傷つけないようご注意ください)



ねじ
水抜き穴：4か所
(設置時にふさがらない)

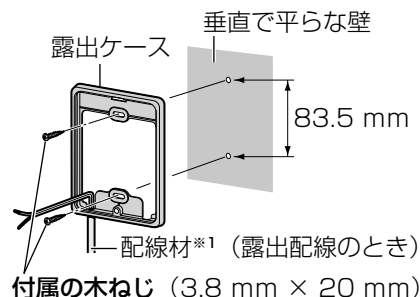
2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



付属の小ねじ (4 mm × 25 mm)

■ 壁の場合



付属の木ねじ (3.8 mm × 20 mm)

※ 1 〈既設の配線を使用する場合〉

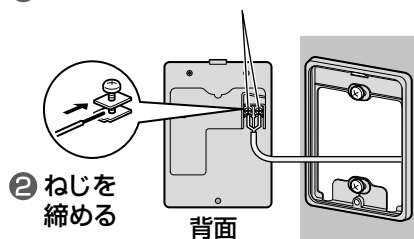
- 壁の中から出ている配線材が「3 本線またはそれ以上」「直径 1.6 mm 以上の単線」「断面積 1 mm²以上のより線」のときは、電源線 (AC100 V など) の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材をドアホンに接続すると、機器が壊れます。

※ 2 JIS 1 個用スイッチボックス

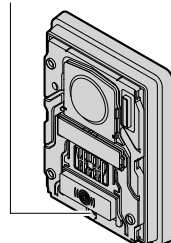
底面に穴 (スリット) がない場合は、水抜きのため穴を開けてください。

3 本体に配線材を接続して露出ケースに固定し、前面パネルを元のように取り付ける

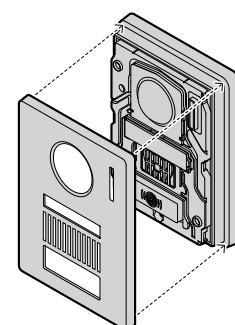
- ① ねじをゆるめ、配線材を差し込む



- ③ 露出ケースに取り付けてねじを締める^{※3}



- ④ 前面パネルを取り付ける



※ 3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを 0.7 N・m (7 kgf・cm) 以下に設定してから固定してください。

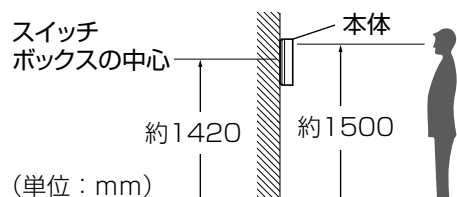
ドアホンを取り付ける

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

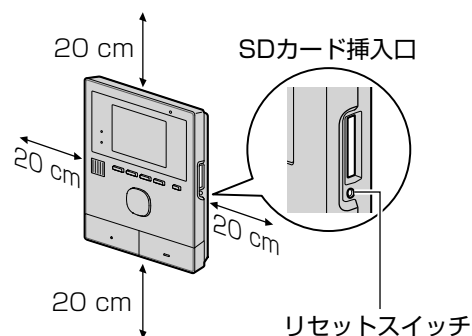
ドアホン親機の取り付け位置を決める

本体と壁掛け金具の取り付け位置

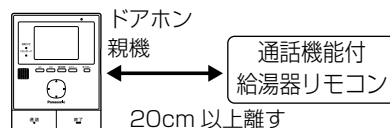
- 本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるよう取り付けてください。
(右図は、床から約 1500 mm の高さに画面の中心がくるように取り付けるときの例です)



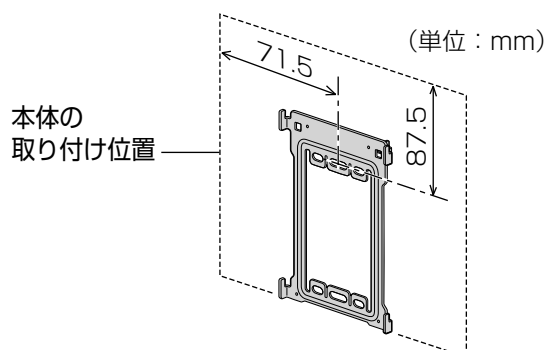
- 本体の上下左右には、下記のための空間を 20 cm 以上とってください。
 - 誤動作や通話の途切れ防止
 - SD カードの出し入れや、リセットスイッチの操作



注 ドアホン親機は通話機能付給湯器リモコン等から 20 cm 以上離して設置してください。通話にノイズが入る場合があります。
(ドアホン親機の端～リモコンの端まで 20 cm のスペースを確保してください。)



- 本体の取り付け位置が決まったら、壁掛け金具は下図の位置に取り付けてください



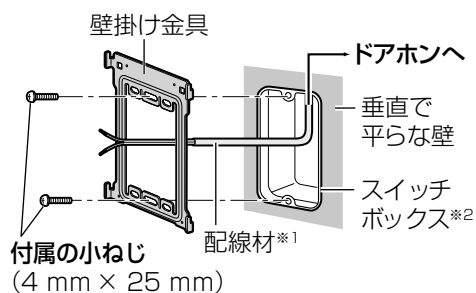
ドアホン親機の取り付け位置を決める

セット品番	VL-SVD303KL	品番	—
品名	テレビドアホン		

ドアホン親機を取り付ける

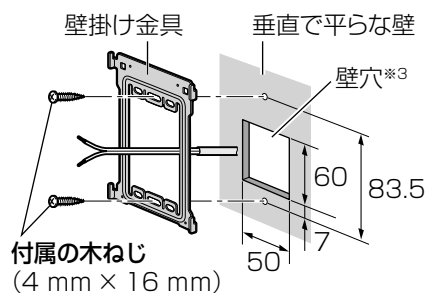
1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合

(単位：mm)



※ 1 〈既設の配線を使用する場合〉

- 壁の中から出ている配線材が「3 本線またはそれ以上」「直径 1.6 mm 以上の単線」「断面積 1 mm²以上のより線」のときは、電源線 (AC100 V など) の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材をドアホン親機に接続すると、機器が壊れます。

※ 2 JIS 1 個用スイッチボックス

電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを取り付けてください。

※ 3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

■ パネル壁 (石こうボード) の場合

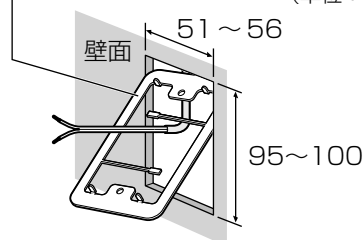
壁に下図のように穴を開け、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

はさみ金具：パナソニック (株) 製

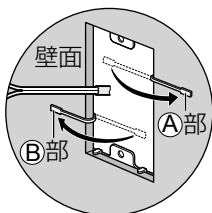
品 番	対 象 壁
WN3996020 (20 個入り) ※	9 mm ~ 30 mm 厚の 石こうボード

※単品でのお取り扱いについては、販売店にお問い合わせください。

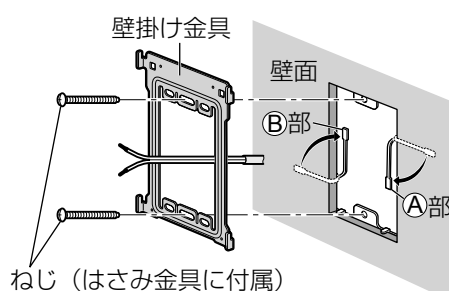
① はさみ金具を壁面の裏側に入れる (単位：mm)



② ①部・②部を図のように折り曲げ、はさみ金具を壁面に仮固定する



③ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで仮止めする



④ ①部・②部を壁端面まで戻し、ねじを締めて固定する

- ①部・②部を、壁掛け金具と壁面に挟み込まないようにしてください。

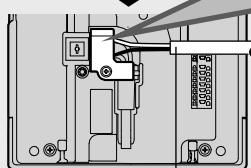
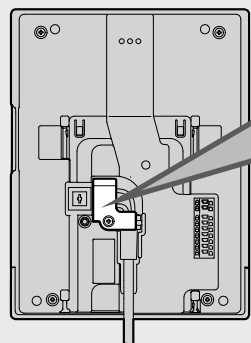
ドアホン親機を取り付ける

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		

AC100 V 電源線を直結する場合のみ（電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください）

2 電源コードを取り外し、AC100 V 電源線を接続する

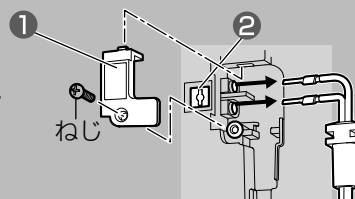
＜ドアホン親機背面＞



電源線は必ず横向きに引き出してください。

① カバーを取り外す

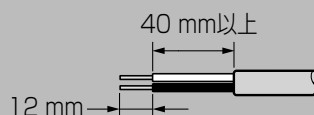
② ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す



③ AC100 V 電源線を下記のように接続する

1. 被ふくを12 mmむく
(線種:φ1.6~φ2.0単芯線)

2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



＜AC100 V 電源線接続端子断面図＞

④ カバーを取り付ける

注意



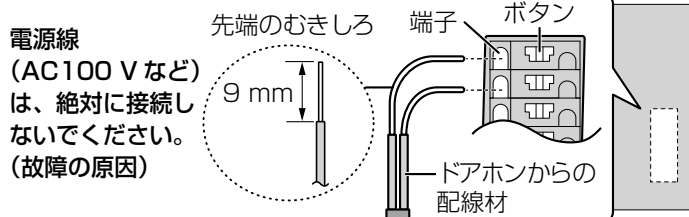
奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

3 配線材を接続する

- 配線系統図に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。

ドアホン親機背面



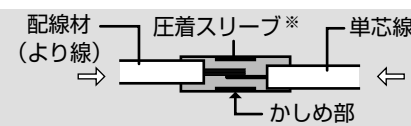
■ 配線材の線種が「より線」の場合

単芯線と結線して使用する

結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の単芯線（50 mm 以上）と圧着スリーブで圧着処理を行ってください。（結線部をよじただけでは、接触不良になるおそれがあります）

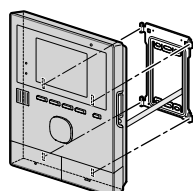


ハンダ付処理

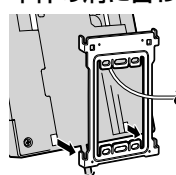


※手順 4 で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

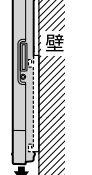
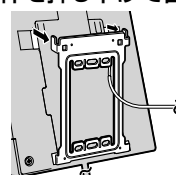
4 ドアホン親機を取り付ける



① 金具の下ツメを本体の溝に合わせる



② 金具の上ツメを本体の溝に合わせ、本体を押し下げて固定する



5

〔電源プラグで使用する場合のみ〕

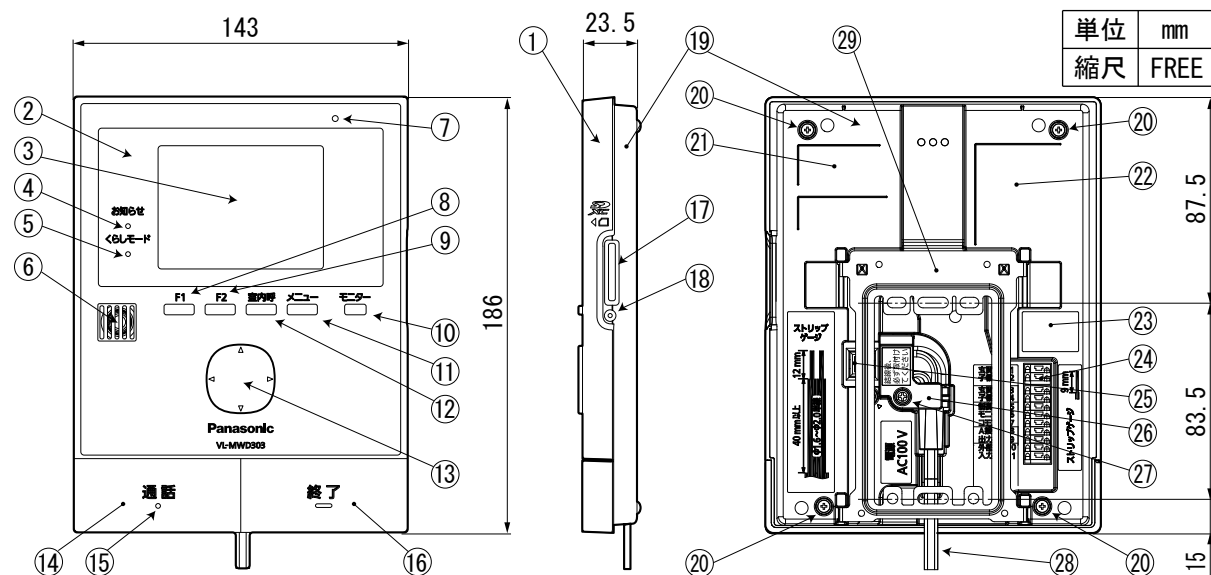
電源プラグのキャップを外して、コンセント（AC100 V）に差し込む

- 落雷による機器の故障を防止するために、雷サージ防止付きのコンセント（市販品）に差し込むことをお勧めします。

ドアホン親機を取り付ける

セット品番	VL-SVD303KL	品番	—
品名	テレビドアホン		

※ドアホン親機は、電源コードを外すと電源直結式になります。



番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
①	上ケース	⑦	マイク音孔	⑬	ナビゲーションキー	⑲	下ケース	⑲	A C端子
②	LCD 保護パネル	⑧	F1 ボタン	⑭	通話ボタン	⑳	ケース締付用ネジ	㉑	A Cカバー
③	液晶ディスプレイ	⑨	F2 ボタン	⑮	通話ランプ	㉒	シリアル No. ラベル	㉒	A Cカバー固定用ネジ
④	お知らせランプ	⑩	モニターボタン	⑯	終了ボタン	㉓	銘板	㉓	AC コード
⑤	くらしモードランプ	⑪	メニューボタン	⑰	SD カードスロット	㉔	注意ラベル	㉔	壁掛け金具
⑥	スピーカー音孔	⑫	室内呼ボタン	⑱	リセットボタン	㉕	接続端子		

■ 仕様

電 源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消 費 電 力	待ち受け時 約 1.2 W、動作時 約 6 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 186 × 143 × 23.5 (突起部除く)
質 量	約 480 g
使用環境条件	周囲温度：0℃～+40℃ 湿度：90%以下
画 面 表 示	約 3.5 型カラー液晶ディスプレイ
通 話 方 式	音声交互自動切替方式
取 付 方 法	露出壁掛け (壁掛け金具付属)
外 観 材 質	難燃性 ABS 樹脂
外 観 色 調	ホワイト
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
A 接点出力端子※1	定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA

外部入力端子	入力方式 : 無電圧メーク接点 検出確定時間 : 0.1 秒以上 接点抵抗値 ・メーク時 : 500 Ω以下 ・ブレイク時 : 15 k Ω以上 端子間短絡電流 : 5 mA 以下 端子間開放電圧 : DC 7 V 以下
呼 出 音	ドアホンからの呼出音※2 音 1 : ピーンポーン 音 2 : ピーンポーンピーンポーン 音 3 : ポーンポーンポーン
モニター画面に 映像が映る時間	(着信時) 約 30 秒、 (通話時) 約 120 秒、 (モニター時) 約 180 秒
画面明るさ調整	5 段階

※1 光るチャイムなどを接続したときは、ドアホンから呼び出しがあった場合などに信号を出力します

※2 ドアホンの鳴り方の種類

押すたび：ドアホンの呼出ボタンが押されるたびに鳴る

繰り返し：ドアホンの呼出ボタンが押されると、約 5 秒間隔で繰り返し鳴る (着信終了まで)。

ただし、ドアホン側で鳴る音や、他の機器との通話中やモニター中に鳴る音は、繰り返ししない。

連打防止：ドアホンの呼出ボタンが連打されても、連続して鳴らない (いたずら防止)

< SD カードについて >

対応 カードの 種 類	SD メモリーカード※3 : 2 GB SDHC メモリーカード※3 : 4 GB～32 GB SDXC メモリーカード※3 : 48 GB、64 GB
フォーマット	SD メモリーカード : FAT16 SDHC メモリーカード : FAT32 SDXC メモリーカード : exFAT

●動作確認済みの SD カードの最新情報は下記サイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/tvdfon/technic/sd.html>

●SD カードの容量と録画件数の目安は本書 (P.13)

※3 下記のカードも使えます。(専用アダプターが必要)

- ・miniSD メモリーカード / microSD メモリーカード
- ・miniSDHC メモリーカード / microSDHC メモリーカード
- ・microSDXC メモリーカード

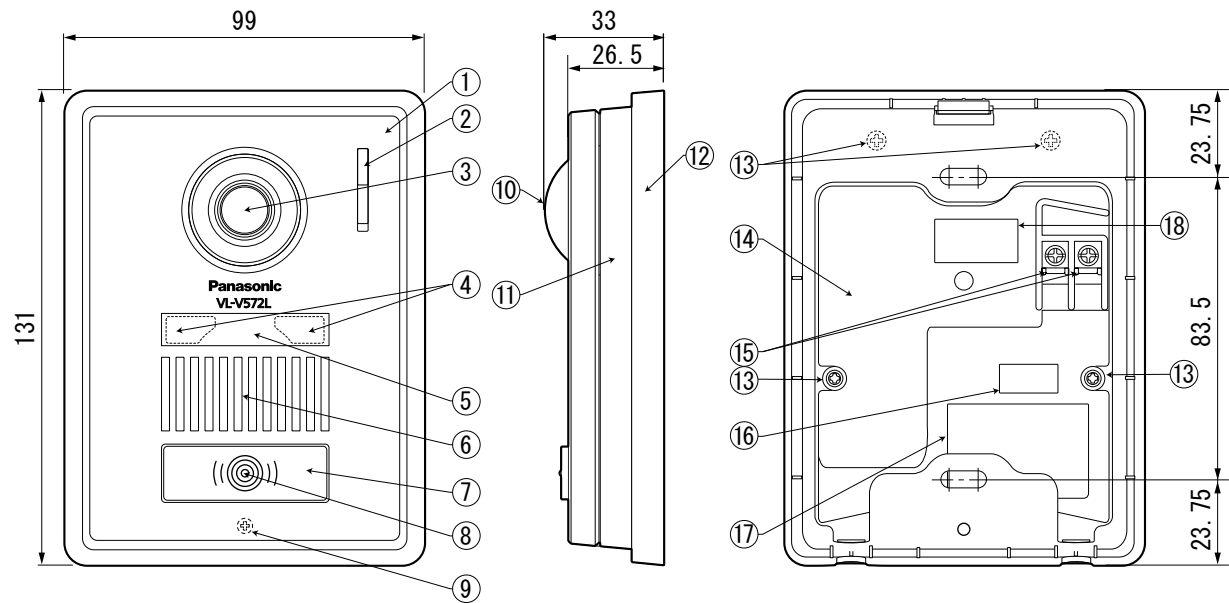
■ 付属品

- ・壁掛金具 1
- ・小ねじ (4 mm × 25 mm) 2
- ・木ねじ (4 mm × 16 mm) 2

外形寸法図／仕様／付属品

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	VL-MWD303K
品 名	ドアホン親機 (モニター親機)		

単位	mm
縮尺	FREE



番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
①	プレート	⑤	表面パネル	⑨	取り付けねじ	⑬	上下ケース止めねじ	⑰	銘板（刻印）
②	マイク部	⑥	スピーカ部	⑩	レンズカバー	⑭	下ケース	⑱	注意ラベル
③	カメラ部	⑦	呼出ボタン	⑪	上ケース	⑮	DC 端子金具		
④	LED ライト	⑧	位置表示灯	⑫	露出ボックス	⑯	シリアル No. ラベル		

■ 仕様

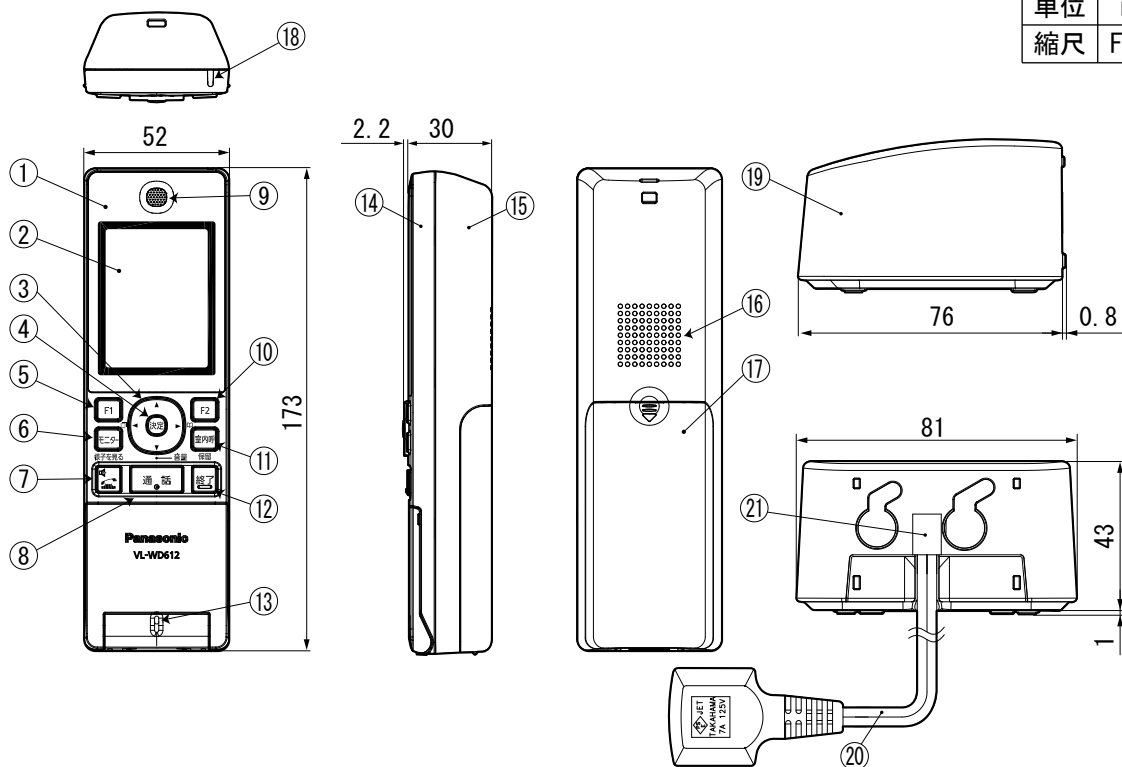
電 源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 131 × 99 × 26.5（突起部除く）
質 量	約 175 g
外 観 色 調	シルバー
外 観 材 質	難燃樹脂
取 付 方 法	JIS 1 個用スイッチボックス適合
使用環境条件	周囲温度：－ 10℃ ～ ＋ 50℃ 湿度：90 % 以下
最 大 画 角	水平約 170°、垂直約 130°
最低被写体照度	1 ルクス（カメラから約 50 cm 以内）
照 明 方 法	LED ライト（照明用ランプ）
防 水 性	IPX3 ※

※鉛直から両側に 60° までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

■ 付属品

- 小ねじ 4 mm × 25 mm2
- 木ねじ 3.8 mm × 20 mm.....2

外形寸法図／仕様／付属品			
セット品番	VL-SVD303KL	品 番	VL-V572L-S
品 名	ドアホン（カメラ玄関子機）		



単位	mm
縮尺	FREE

番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
①	フロントパネル	⑥	モニター(様子を見る)ボタン/ランプ	⑩	F2 ボタン	⑮	下ケース
②	液晶ディスプレイ	⑦	電話ボタン/ランプ	⑪	室内呼(保留)ボタン	⑯	スピーカー孔
③	マルチファンクションキー	⑧	通話ボタン/ランプ	⑫	終了ボタン	⑰	電池カバー
④	決定ボタン	⑨	受話口	⑬	マイク孔(通話口)	⑱	充電ランプ
⑤	F1 ボタン			⑭	上ケース	⑲	充電台
						⑳	AC コード
						㉑	AC コード固定用ゴム

■ 仕様

〈ワイヤレスモニター子機〉

電 源	専用ニッケル水素電池 (品番: KX-FAN55) DC2.4 V / 650 mAh
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約 173 × 52 × 30 (突起部除く)
質 量	約 165g (電池パック含む)
外 観 材 質	ABS 樹脂
外 観 色 調	ホワイト
使用環境条件	周囲温度 0℃～+40℃ 湿度 90%以下
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通 話 方 式 (ドアホン通話)	音声交互自動切替方式
画 面 表 示	約 2.4 型カラー液晶ディスプレイ
使用時間※1	連続使用時間: ・ドアホン通話(ｽﾎﾟｰｶｰﾎﾝ): 約 2 時間 ・外線通話※2(受話口での通話): 約 5 時間※3 待ち受け時間: 約 80 時間
充電時間※4	約 10 時間
使用可能距離	約 100 m (親機との見通し距離)

〈充電台〉

電 源	AC100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	待機時: 約 0.25 W (子機を充電台から外しているとき) 充電時: 約 0.65 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約 43 × 81 × 76 (突起部除く)
質 量	約 166 g
外 観 材 質	難燃性 ABS 樹脂
外 観 色 調	ホワイト
使用環境条件	周囲温度 0℃～+40℃ 湿度 90%以下

- ※1 充電完了の状態で使用環境温度が 20℃のとき
 ※2 電話 / ファクス親機に増設時
 ※3 スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪いところで使うと、連続使用時間が短くなります。
 ※4 使用環境温度が 20℃、電源電圧 AC100 V のときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。

■ 付属品

- 充電台 1
- 電池パック 1

外形寸法図／仕様／付属品

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	VL-WD612
品 名	別売品子機 (ワイヤレスモニター子機)		

補足

■ 比較表

品 番	VL-WD712X/K (センサー付ワイヤレスカメラ)	VL-WD812K (センサーライト付ワイヤレスカメラ)
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	約 126.5 × 75 × 193 (正面設置時、スタンドベース含む)	約 160 × 118 × 290 (正面設置時、スタンドベース含む)
質 量	VL-WD712X : 約 450 g VL-WD712K : 約 950 g(電源コード含む) 約 450 g(電源コード除く)	約 1530 g(電源コード含む) 約 990 g(電源コード除く)
撮 影 範 囲 (カメラ画角)	水平 70° 垂直 53°	水平 53° 垂直 41°
センサー検知範囲	- 人感(熱)センサー (周囲温度: 約 20℃のとき) 水平 : 約 70°、垂直: 約 20° 検知距離 : 約 5 m - 動作検知 水平 : 約 70°、垂直: 約 53°	- 人感(熱)センサー (周囲温度: 約 20℃のとき) 水平 : 約 63°、垂直: 約 20° 検知距離 : 約 5 m - 動作検知 水平 : 約 53°、垂直: 約 41°
外部センサー入力	—	○
LED ラ イ ト	ナイトビジョン(赤外線)	白色LED
防 塵・防 水 性 能	IP54※1	IPX4※2
取 付 角 度 調 整 (取り付け時に設定可)	水平: 約±90° 垂直: 正面～下方向へ約 65°	水平: 約±90° 垂直: 正面～下方向へ約 60°
人 感 (熱) セン サ ー 角 度 調 整	—	○(2段階で手動調整可能)
周 囲 音 ※ 3	×	○
呼 び か け ※ 4	○	○
お 知 ら せ 音 ※ 5	○	○
録 画 品 質	QVGA 1 [コマ/秒]	
録画前撮り機能	1 秒 / 2 秒	
電 源	VL-WD712X: 電源直結式 VL-WD712K: 電源コード式 (AC 直結ケーブル同梱)	電源コード式 (AC 直結ケーブル同梱)
取付ねじ引き抜き強度	1 本あたり 196 N (20 kgf) 以上	1 本あたり 294 N (30 kgf) 以上

- ※ 1 防塵性規格等級 5 : 機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル
防水性規格等級 4 : あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル
- ※ 2 あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を及ぼさないレベル
- 施工説明書に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ
 - 雨どいなどから直接水がかかる場所は避けて設置してください。
- ※ 3 ドアホン親機側でカメラ周囲の音を聞くことができます。
- ※ 4 カメラ側にいる相手に向かって、ドアホン親機から呼びかけができます。
- ※ 5 カメラ側にいる相手に向かって、ドアホン親機からお知らせ音を鳴らすことができます。

補足

セット品番	VL-SVD303KL	品 番	—
品 名	テレビドアホン		